

印西大師 番外 瀬戸・坪ノ内堂（願定院）

- 1 名称 (No.139)〔手引鏡：坪ノ内堂〕
- 2 場所 印西市瀬戸270 願定院(がんじょういん)
山田・西の堂から道程約1,240m(山田橋経由)
市井橋は眺望が良いが、現在、通行止め。
願定院の山門の右
GPS座標 35.77598949524738, 140.22009095625614
- 3 由緒
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が2
体あり。左の石像の台座に「坪内堂 施主 傳
兵エ母」と彫られている。右の石像は、台座
に「講中」とあり、番外札所の御大師様と思われる。
- 5 境内 山門の左前に第24番と坪ノ内堂・番外があり、馬頭観音堂、毘沙門堂、石神大明神、
墓地などがある。秋の紅葉もきれいだ。
- 6 写真 (2023.05撮影)



大師堂 (坪ノ内堂)



御大師様



大師堂 (坪ノ内堂)



山門と第24番と坪ノ内堂 (右)



坪ノ内堂 (左) と番外札所 (右)



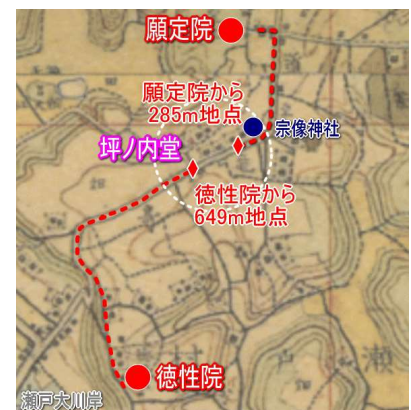
本堂

7 情報

(1) 旧坪ノ内堂

手引鏡では、徳性院→5丁半27間(649m)→坪ノ内堂→2丁半7間(285m)→願定院となっている。明治初期の迅速測図(右図)を見てみると、道路位置は現在とほぼ同じなのでGoogleマップで距離を測定し図に落としてみると瀬戸の宗像神社あたりと考えられる。

2025年4月に願定院で印西大師の巡拝の様子を見学した際、お接待をされていた地元の役員の方からOさんならわかるかも



しれないと紹介をいただきました。〇さんによると、このあたりに「坪ノ内」という地名はなく、「坪ノ内」という屋号の家も知らないが、石像の台座の「傳兵エ」さんは宗像神社の前(東)のお宅かもしれないとの情報をいただきました。宗像神社の前なら手引鏡に合致しています。

推測ですが、宗像神社の前(東側)に住んでいた傳兵エさんの母親が江戸時代に建立した御堂で、当初は自宅の敷地の一角にあったものが後の時代になって願定院に遷されたものと思われます。大師講に熱心であった伝兵衛さんが亡くなり、その供養として祀ったのでしょうか。

2025.04一部修正